

---

# タイ国・メイカンボン村コミュニティ・ベース・ツーリズム調査の概要

米田 公 則

---

## はじめに

---

本論文は、タイ国内においてコミュニティ・ベース・ツーリズム Community-based Tourism（以下、CBTと略）で最も成功した村の一つであるメイカンボン村におけるホームステイ事業を展開している世帯に対して実施したアンケート調査の詳細についての報告である。すでに調査結果について、一部発表を行っている。しかしながら、調査の全体像について発表を行っていないために、アンケート調査の基本的に枠組み、その目的が不明確な状態となっている。この論文において、アンケート調査の実施目的、その内容を、明らかにしたい。

CBTについては、別稿において検討しているので、ここでは詳細は避けるが、ツーリズムにおいて、CBTがどのような特性を持つのかという点について少しふれておきたい<sup>1)</sup>。

CBTは、単なる地域観光ではなく、地域が主導して観光を営む点に特徴がある。それによってコミュニティ全体が潤う仕組みが構築されている点が第一の特性である。我が国では一般に観光地で営まれる観光事業は専門的な観光事業者、それによって利益を得る観光関連産業事業者によって営まれ、観光業に関わっていない地域住民は観光にほとんど関与しないのが通常である。地域住民が関わる場合の多くは、観光によって地域環境が破壊されたり、地域住民の生活に支障をきたすような状況が発生したりするときである。地域住民

は自分たちの生活を守るために、様々な規制を行う（例えば、自動車の乗り入れ規制やゴミの規制）。

近年観光による地域活性化の方策を取る自治体も多いが、観光振興による恩恵は、地域住民というより観光に関わる一部の人たちだけが享受する場合が多い。（もちろん、観光客の増加により、自治体の税収が増えるということはあるが）

タイ国メイカンボン村のCBTは、観光業で得られる収入の一部が、直接コミュニティに還元されることにより、コミュニティ全体が潤い、観光関連産業を営まない住民も恩恵を受ける仕組みとなっている。

地域が主導する観光であることによって、ホームステイ事業、つまり宿泊業を地域住民が管理し、自由に宿泊経営ができないルールとなっている点が、第二の特性である。別の言い方をすれば、地域の観光を地域がコントロールする仕組みを作られている。以上のような点においても、メイカンボン村は最も成功したコミュニティといえることができる。

しかしながら、メイカンボン村CBTの成功、それによる観光者の急増はメイカンボン村CBTに大きな変化をもたらす。2016年、これまではCBTのホームステイ・グループのみで行われていた宿泊業を、一定のルールの下で地域住民が経営可能にするという重大なルール変更を行った。これにより、メイカンボン村にはホームステイ・グループによって営まれるホームステイ事業と個人経営のホームステイ事業が並列するという状況となったのである。

---

## 1. タイ国メイカンボン村アンケート調査の目的と対象

---

### アンケート調査の主要目的

本調査は、これまでCBTホームステイ・グループと、新たにホームステイ事業を開始した個人経営者の経営実態、携帯電話など情報機器の活用の実態、意識の変化などを明らかにすることを目的としている。

調査の目的の第一は、ホームステイ経営の実態解明である。本来、ホームステイ事業は、自分たちの住居の一部を宿泊者に対して提供するものである。よって既存の住居の一部を活用することが通常となっている。もちろんホームステイとして認定されるためには、国の定める基準を満たす必要がある。タイには、ホームステイの公的認証制度がある。その基準を満たすために、住居施設の一部改修などが行われることはある。しかし、宿泊業の個人経営が許されたことにより、個人経営を営もうとする者の中には、単に既存施設の改修にとどまらず、ビジネスとして成功するために、新たに宿泊施設を作るものも当然現れる。新たに個人経営に乗り出した人々が、どのような投資を行い、経営を進めようとしているのか、それが従来のホームステイ事業とどのような差があるのかを明らかにすることが第一の目的である。

第二の目的は、情報機器の活用実態を明らかにすることであった。なぜ、情報機器の活用実態を明らかにすることを目的としたかといえば、それはメイカンボン村のCBTホームステイ事業のあり方が大きく関係しているからである。メイカンボン村のCBT事業は、コミュニティの合意のもとで実施されたが、事業開始当初、メイカンボン村の情報環境は大変悪く、当時の村長でありCBT事業のリーダーであった人物が、自らパラボラアンテナを設置して、電話利用を可能にし、それによって宿泊希望者を受け入れ、ホームス

テイを実現したのである。皮肉なことであるが、情報環境の悪さが、CBT事業の一元的管理と透明性を実現したとも言える。

この情報環境の悪さは、その後メイカンボン村が観光地として注目されるとともに改善されることとなる。村内にアンテナが2台設置されたことにより、情報環境は大きく改善され、携帯電話やインターネットは、チェンマイ市内と変わらず利用可能となった。

情報環境の改善は、個別に宿泊者を受け入れることを可能にした。更に、インターネットの普及により、電話だけではなく、ホームページからの宿泊申し込みなども可能となった。個人経営者は積極的に情報機器を活用し、宿泊者を受け入れることができる環境が整ったのである。個人経営を実現するためにはこの情報環境の改善が前提としてあったのである。よって、情報機器の導入時期、宿泊者の受け入れ方法などへの情報機器の活用の実態を明らかにすることは、メイカンボン村のCBT調査においては重要なテーマの一つなのである。

調査の目的の第三は、CBT並びに個人経営者の人たちが、メイカンボン村の観光の成功をどのように評価しているかを明らかにすることであった。これに関しては、自由記述欄を設け、より具体的な意見の集約を行っている。

### アンケート調査の実施時期と対象者

メイカンボン村でホームステイ事業を営む全経営者を対象とした全数調査を実施した。ホームステイ事業を営むCBTホームステイ・グループ19戸と、個人経営を営む51戸を対象とした。しかしながら、個人経営者については、CBTホームステイグループと同時期に当初23戸を実施し、後に28戸の追加調査を実施した。

調査実施の時期は、2019年2月14日から17日の期間に、Payap大学CBT研究所の職員の協力を

得て第一次調査を実施した。この期間に実施できたのはホームステイ・グループ経営の19戸と、メイカンボン村中心部で個人経営を営む23戸のみであった。そのため、2019年4月に、Payap大学CBT研究所職員の協力を得て、個人経営を営む残りのすべての経営者を対象とした補充調査を行い、それによって全数調査が完成した。

### アンケート調査の協力者

アンケート調査への協力者については、タイ調査において現地通訳をお願いしているイサラー・ヤナタン氏の名前をまず挙げなければならない。タイ調査の現地通訳として長期に亘り、協力していただいている。

また、今回のアンケート調査には、Payap大学CBT研究所のウェアボン研究員を初めてとするCBT研究所の4名の所員の協力なしには実施することはできなかった。ウェアボン氏には調査票の最終確認・修正をしていただき、メイカンボン村のリーダーと調査実施のための調整をおこなっていただいた。また、現地でのアンケート調査実施は、研究所所員が調査員として活動していただき、調査を成功させることができた。

## 2. アンケート調査の概要

実施したアンケート調査は次のような大項目となっている。

- A. ホームステイについての基礎的質問
- B. ホームステイ経営者についての質問
- C. ホームステイ経営についての質問
- D. CBT成功についての質問

この大項目では、以下のような少項目を含んでいる。

- A. ホームステイについての基礎的質問  
経営実態 (問2、問3、問7)  
経営時期 (問1)  
住宅改修・新築実態 (問4、問5、問6)  
ホームステイメンバーの確認 (問8)  
受け入れ方法等 (問9、問10)

ホームステイに関する基礎的質問では、経営の実態、経営開始の時期、開始にあたっての住宅の改修、新築状況、そのために投資した額などホームステイ経営の実態解明の必要な質問と、情報環境の利用状況を明らかにするために、どのような連絡手段を使ってゲストを迎え入れているのかに関する質問を行っている。

- B. ホームステイ経営者についての質問  
経営者 (問11-1、2、3、4、問12-3)  
携帯電話所有の時期 (問11-5、6)  
職業・仕事内容 (問12-3、12-5)

Bは、経営者個人に関する質問群である。経営者の年齢、性別、居住年、前住地、などの質問と情報環境に関わる携帯電話所有の時期を質問している。

- C. ホームステイ経営についての質問  
収入関係 (問12-1、2、問12-4)  
職業・仕事内容 (問12-3、12-5)

Cは、ホームステイを経営したことによってどの程度収入が増加したのかについて質問したものである。また、職業経歴、副業などの有無等に関する質問も行っている。

- D. CBT成功についての質問  
CBTの評価 (問13)  
CBTの環境への評価 (問14)  
人間関係への影響 (問15)

Dは、CBT成功が村に与えている影響についての評価に関する質問群である。CBTの村内環境への評価、並びに人間関係への影響に関しては、自由記述欄を設け、忌憚のない意見を記述してもらった。

### 3. アンケート調査票

本来のアンケート調査票は、タイ語（文字）で制作されている。しかしながら、タイ語の調査票をそのまま掲載することは本論文の目的に満たさないため、日本語版と英語版のみを掲載する。アンケート調査票作成に当たっては、日本語の調査票を筆者が作成した後、英語版を作成し、イサラー・ヤナタン氏の協力を得、タイ語版の調査票を作成し、最終的にPayap大学CBT研究所職員・ウェラボン氏の加筆・修正によって完成させた。

\*\*\*\*\*

<ホームステイ経営者への質問項目>

Questionnaire

#### A. ホームステイについての基礎的質問

##### A. Basic questions about homestay

問1. ホームステイ経営は何年から始めましたか。

(ホームステイ開始の年・月)

1. He began to accept guests for the first time in a month ( ) Year ( )

問2. ホームステイは最大何人受け入れ可能ですか。(受け入れ可能人数)

2. At present, the number of guests you can receive the most is ( ) people.

問3. ホームステイのために仕える部屋は何部屋ですか。(部屋数)

3. At present, you have all homestay services ( ) rooms

問4. ホームステイを経営するために家を建築したり、改修したりしましたか。(ホームステイのための家の利用・既存・新築・両方)

4. What is your current reception?

4.1 arranging for guests to stay in their existing homes

4.2 Create a new accommodation for guests to stay Separate from the house itself

4.3 Guests can stay both at

問5. ホームステイを経営するために既存の家を改修したりしましたか。(改修の有無)

5. In the case that guests are staying in their own existing home, you used to have a home improvement investment of you?

( ) Investing, improving

( ) not investing Because it can be used for living

問5-1. 改修のための投資をした場合。時期

5.1 In the case of investment improvements

You have begun to improve last month ( ) year ( )

問5-2. 改修のための投資をした額(バーツ)

5.2 The total cost of improvement ( ) baht

問6. ホームステイビジネスのために新築をした場合

6. In the case of investing in a new home for a homestay business

問6-1、2、3. 新築の時期、投資額、新築以前のホームステイの実施の有無

6.1 You start accepting guests to stay in a newly

built house for the first time in a month ( )  
year ( )

6.2 All budgets that you have invested to build  
new accommodation around ( ) baht

6.3 Before creating a new residence, did you have  
use your original house as a homestay?

1 Used 2 Not used

問7. 昨年度の宿泊者総数

7. Last year (year 2018), there were guests to stay  
in the total number of ( ) people

問7-1. 最も多かった月の宿泊者数

The month with the most guests staying is the  
month ( ) with all guests staying ( ) people.

問8. ホームステイ・グループのメンバーである  
かどうか

8. Are you a member of the village homestay  
group?

( ) a member

( ) not a member

問9. 宿泊者受け入れの方法

9. Present guests who want to stay what are the  
channels who can contact you? (Marked in  
brackets Can select more than 1 item)

9.1 ( ) through the village homestay group

9.2 ( ) Contact via email

9.3 ( ) contact Facebook or LINE

9.4 ( ) Call directly to contact

問10. 連絡方法別の割合

10. In the previous year (year 2018), guests who  
used the service There are contacts via loud  
channels. Can be separated as follows  
( )

10.1 Contact through the homestay group of the

village ( )

10.2 Contact via email ( )

10.3 Contact via Facebook or LINE ( )

10.4 Call directly to contact ( )

B. ホームステイ経営者について

B. Questions about the private information of the  
homestay host

問11. 1-4. ホームステイ経営者の年齢・性別・  
家族構成・出生地

11. Personal information of the homestay host  
(please circle or fill in the brackets)

11.1 Age ( ) Year Male Female

11.2 Present your home There are people who  
live in all ( ) people

11.3 Are you a mother of Kampong by birth?  
Yes No

11.4 In the case of moving from another place,  
moving from ( ) moved to Mae Kampong  
( ) year

問11. 5、6 携帯電話所有の年、ホームステイ  
事業開始と携帯電話所有との時期

11.5 You have the first mobile phone when ( )  
last year.

11.6 Buying the first mobile phone with starting a  
homestay business Whichever happens first  
(please circle)

Buy mobile first Do homestay first

Both at the same time

C. ホームステイ経営についての質問

C. Questions about Your homestay business

問12.1 ホームステイ経営で収入は増加しまし  
たか?

12. Questions about Your homestay business

12.1 After you have a homestay business Does your income increase?  
Increase, not increase, not much different from the original

問12.2 収入が増加した場合、以前と比べてどれくらい増加しましたか？

12.2 In the case of additional income from the homestay business During the past year Earning you when Compared to when the homestay did not start Increased approximately ( ) baht

問12.3 ホームステイ経営をする以前は、どのような仕事をしていましたか？

12.3 What work have you done before starting a homestay business?

問12.4 現在、ホームステイ経営以外で、収入はありますか？

12.4 Currently, besides the homestay business do you have income from other channels?

問12.5 ホームステイ経営以外の仕事はなんですか？

12.5 In the case of income from other jobs, what does this work look like?

- A). Work done before starting a homestay business
- B). Other jobs related to tourism
- C). Other jobs other than the above two items

D. CBT 成功についての質問

D. Questions about the success of tourism by the community

問13. CBTの成功は村にとってよかったのかどうか。

13. Do you think that the success of the community

tourism of Mae Kampong Village?  
How does it affect the village?  
A. Very good results. B. Good results. C. Not changed. D. Effective. E. Very bad results.

問14. CBT成功により村の環境は良くなったかどうか。

14. Do you think that the environment of the village after the start of tourism by the community is better or worse  
A. Much better. B. Better, but not too much. C. Not changing. D. a lot worse E. Bad.

問14. 1、2. その理由について (自由記述)

- 14.1 If you choose A and / or B. Please tell which part is better. How better ( )
- 14.2 If you choose D and / or E, please tell us which part is worse ( )

問15. 観光の成功による村民の人間関係の変化について

15. Do you think that after the tourism of the village is successful? Until the present, the relationship between the villagers together Better or worse?  
A. Much better. B. a little better C. Not changing. D. a lot worse E. Bad.

- 15.1 If you choose A and / or B. Please tell which part is better. How better ( )
- 15.2 If you choose C and / or D, please tell which part is worse and worse. ( )

回答ありがとうございました。

Thank you for your answer.





---

## 終わりに

---

これまで、アンケート調査を実施するにあたっての目的、その背景にあるメイカンボン村CBTの状況変化（これまで禁止されていた個人経営の宿泊者受け入れ、情報通信環境の変化）の説明、そしてアンケート調査票を明らかにし、調査の全体像を示してきた。調査の期間が二期に及んだために、現在第一次調査分の報告しか公表されていない<sup>2)</sup>。2022年3月には、全数調査に基づくホームステイ経営の実態に関する研究論文を公表する<sup>3)</sup>。

しかしながら、調査の他の目的である情報通信環境の変化とその利用実態については、研究成果を発表できていない。また、CBT成功のメイカンボン村への様々な影響への住民評価の分析も未発表の状態である。今後これらも随時公表する予定である。

### 注

- 1) コミュニティ・ベース・ツーリズムについては拙稿(2020)「地域観光の成功と変質」を参照のこと
- 2) 拙稿(2020)
- 3) 『椋山女学園大学研究論集 第52号 社会科学編』に「地域観光の変質とホームステイ経営の実態——タイ国メイカンボン村のホームステイ経営の調査分析」(仮)の論文を掲載。

### 文 献

拙稿(2020)「地域観光の成功と変質」『椋山女学園大学研究論集 第51号 社会科学編 23~37頁

こめだ・きみのり/文化情報学部教授  
E-mail: komeda@sugiyama-u.ac.jp

